



いとう周平

プロフィール

1960年4月6日 山口県周南市生まれ 65歳

最終

学歴

東京大学 大学院 社会学研究科 博士課程修了
1988年4月 労働省(現厚生労働省)入省
1991年8月 社会保障研究所 入所
(現国立社会保障・人口問題研究所)

1996年4月 法政大学 社会学部 助教授
1998年4月 九州大学 教育学部 助教授
2000年4月 九州大学 大学院
人間環境学研究院 助教授
2003年10月 鹿児島大学 法文学部 教授
2004年4月 鹿児島大学 法科大学院 教授
2017年4月 鹿児島大学 法文学部 教授

専門

分野

社会保障法

社会政策論

現職

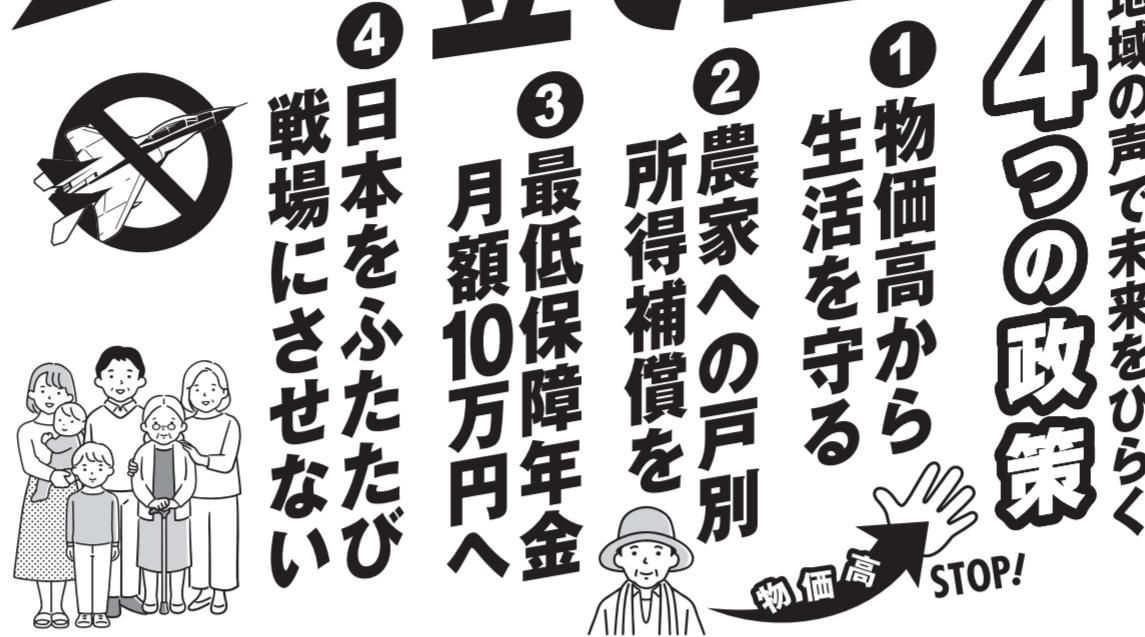
鹿児島大学

主な

著書

「介護保険法と権利保障」
(法律文化社、日本社会福祉学会学術賞受賞)
「消費税が社会保障を破壊する」(角川新書)
「日本の社会保障」(ちくま新書)など

くらし・社会保障を立て直す!



鹿児島の戦争のための前線基地化、断固反対! 比例区は社民党へ



いとう周平
社民党公認 65歳

令和八年二月八日執行

(この選挙公報は、公職選挙法第百六十九条第三項の規定により、候補者から提出された原文のままを掲載したものであります。)

衆議院（小選挙区選出）議員選挙

（鹿児島県第四区）



きりはらいくお
参政党公認



ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せられるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え方行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1 日本人を豊かにする ～経済・産業・移民～

2 日本人を守り抜く ～食と健康・一次産業・エネルギー～

3 日本人を育む ～教育・人づくり・国家観～

1 “集めて配る”よりも減税
減税と社会保障料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”
労働力不足の解決を、安い移住者に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地取得を制限します。

3 現場の人々が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

4 食は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が生命線
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 安心医療で健康国家
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

7 子ども一人につき月10万円
0~15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 受験戦争からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 日本はみんなの家
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は参政党

とお書き
ください。

参政党の政策
はこちらの特設
サイトから!



きりはらいくお プロフィール

鹿児島県沖永良部島出身。鶴丸高校卒業、中央大学中退、日本福祉大学卒業。長年にわたり高齢者福祉施設の運営に携わり、日本福祉大学で福祉を学ぶ。霧島市の高齢者福祉施設で施設長を約10年務める。

国民民主党 中村ひさしの政策4本柱

1. 「もっと手取りを増やす」

働く世代、子育て世代を手厚く支援し、年少扶養控除を復活して手取りを増やし、更に再エネ賦課金を廃止し、電気代を安くすることでもっと手取りを増やします。

3. 「教育対策・少子化対策・子ども支援」

◆ 奨学金ローン減税
住宅ローン減税と同じく、奨学金を抱えている人たちに対しても国が支援していく減税を目指します。

◆ 子ども食堂支援

全国の子ども食堂に対し、国が責任を持って手厚い支援をし、国の宝である子ども達の成長を育むことを目指します。

比例区は 国民民主党
Democratic Party For the People

鹿児島4区 公認
中村ひさし

選挙事務所：鹿児島県志布志市志布志町志布志 3-3-14 / TEL:099-255-5055



志布志の小学校・中学校を卒業。
高校はかつて曾於市にあった、
岩川高等学校で建築を学ぶ。
高校卒業後は上京。
多くの年月をビジネスの世界で
過ごす。いくつかの会社経営に
も携わり、海外での会社設立や
会社経営を経験。現在 59 歳。

profile

中村ひさしは、今までビジネスの世界で学んできた「知識」や「経験」を政治の世界で生かして参ります。人々が先の見えない閉塞感を感じている今、頑張った人が頑張った分だけ報われる社会、将来への明るい希望が持てる日本・鹿児島をつくるためにがんばります。応援をよろしくお願ひ致します！

手取りを増やす。



中村ひさし
鹿児島4区 国民民主党公認

鹿児島県選挙管理委員会 選挙公報

